

【平成28年第4回定例会 健康福祉委員会委員長報告資料】

平成28年12月15日 健康福祉委員長 田村 伸一郎

○「議案第179号 川崎市休日急患診療所条例及び川崎市多摩休日夜間急患診療所条例を廃止する条例の制定について」

《主な質疑・答弁等》

\* 休日急患診療所の機能の引継ぎについて

休日急患診療所の目的は、休日及び夜間時においても、市民が安心して医療を受けられる初期救急医療を確保するものである。事業の移管に当たっては、医師会と運営協定を締結することにより、従来の機能については、引き続き維持されると考えている。

\* 中部小児急病センターが午後11時までの受け入れとなっている中、中原休日急患診療所における小児救急の深夜帯の時間拡充について

全国的に小児科医師の確保が困難な中で、休日急患診療所においては、医師会員の当番制により運営しているところであり、医師会員の負担を勘案しながら、今後も市民サービスの向上に向けて、医師会と協議を続けていきたいと考えている。なお、小児救急における深夜帯の時間拡充については、現時点では大変困難であり、中部地域居住者においては、従前どおり南部又は北部の小児急病センター、もしくは小児病院群輪番制の当番病院において受診していただきたいと考えている。

《意見》

\* 北部では、多摩休日夜間急患診療所において医師会が早朝までの診察を請け負っているため、中原区、高津区等の中部においても、早朝までの小児救急の診察が実施できるように時間の拡充をしてほしい。

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第192号 川崎市中原老人福祉センターの指定管理者の指定について」

《主な質疑・答弁等》

\* 指定管理者の指定後の環境の維持について

中原老人福祉センターについては、各区に1か所ある老人福祉センターの中でも環境面で非常に恵まれており、園庭を活用した様々なイベント等も開催されている。今後も指定管理予定者に、地理的な条件を十分に活用した上で、老人福祉センターとして魅力ある事業を実施していただきたいと考えている。

\* 指定管理者募集スケジュールについて

本年8月4日に本市のホームページ等で次期の指定管理者の募集を開始し、8月19日に応募を予定している団体に対して、説明会を開催した。その際には、今回の指定管理予定者である中原区社会福祉協議会以外にもう1事業者が参加していたが、結果的には応募には至らず、中原区社会福祉協議会のみのお応募となった経過がある。

**\* 中原老人福祉センターの運営における主な課題について**

当該施設については、設立が昭和41年で築50年が経過し、老朽化しており、また当初は他の老人福祉センターと異なり、本市が直営で運営を行っていた。平成21年度に指定管理者制度に移行し、平成26年3月に入浴施設で故障が発生し、改修期間を設けたため、その間の利用者数が減少した経過がある。このため運営上の大きな課題としては、施設の老朽化に伴い、様々なメンテナンスや大規模修繕が必要となってくる点が挙げられる。

**\* 指定管理者の運営経費について**

当該施設は無料で利用できる施設であるため、基本的に管理、運営については、本市から支払われる年間約6,000万円の指定管理料によって賄われている。より良いサービスを提供する上で資金面の課題もあるが、現在の指定管理者である中原区社会福祉協議会には、経営上の工夫をしながら施設運営をしていただいております。次の指定管理期間においても同様に進めていただきたいと思います。

**\* 指定管理期間と武蔵小杉に移転するまでの期間について**

当該施設は、平成35年度を目途に新たに日本医科大学地区開発計画地区に移転する予定であるが、指定管理期間を平成34年3月31日までとしている。このため、平成34年度の1年間は、指定管理期間を延長する等、様々な手法が考えられるが、現時点では決定しておらず、1年間という期間を考慮しながら、最適な手法を考えていきたい。

**\* 移転を控えた施設の老朽化対策の考え方について**

移転の方向性が決定している中で、どの程度費用を投入するかの課題はあるが、空調や入浴施設の故障は、利用者のサービスに直結するものであるため、コストとの兼ね合いを適宜協議しながら、適切な補修等を行っていききたいと考えている。

**\* 選定評価委員会における委員の意見と指定管理者の主体的な取組について**

老人福祉センターは、基本的に元気な高齢者向けの教養講座や体操等の健康づくりの取組を行うとともに、虚弱になってしまった高齢者に対する閉じこもり予防等の取組も行っており、委員からは閉じこもりの高齢者に対してどのような形で積極的に働きかけていくのかといった意見があった。それに対し、指定管理予定者からは、中原老人福祉センターは自然環境に恵まれていることから、その環境を生かした趣味や教養を向上させるような取組を行っていくとの回答があった。また、老人福祉センターにおける取組について、利用者や地域にどのようにPRしていくのかという質問に対しては、中原区社会福祉協議会で作成している広報紙で地域に対して情報提供を行うとともに、今後利用者の呼び込みを行っていききたいと回答したことについては、選定評価委員会から高く評価されている。

**《意見》**

**\* 当該施設については、老朽化の問題もある中で、高齢者の福祉向上を目的としているため、黒字化を目指す施設ではないものと認識しているが、新たなサービスの提供や魅力ある施設運営を行うためにも、随時市としてもモニタリングを行い**

利用者の声を受け止めてほしい。

《審査結果》

全会一致原案可決

○「議案第200号 平成28年度川崎市病院事業会計補正予算」

《主な質疑・答弁等》

\* 井田病院再編整備事業Ⅲ期工事の経過と現状について

Ⅲ期工事の経過については、平成28年3月15日に入札が行われたが、入札不調となっている。その後、再度入札が行われ、8月23日に建築工事の契約、9月14日に電気その他設備工事の契約、11月11日に衛生その他設備工事の契約がそれぞれ締結されている。平成29年中の竣工を予定しており、立体駐車場については夏前に、バスロータリーについては秋頃に仮供用を開始していきたいと考えている。

《審査結果》

全会一致原案可決